

新しい「ええもん安い」、お客様に届けていきます。

品質と価格にこだわった商品を開発

イズミヤの 自社開発商品

安心、安全、人・環境に優しい 〈オーガニックコットン〉

～レディース ベーシック カットソー～

有機農法で化学肥料(農薬)を一切使用せず栽培した綿花から作られた綿糸のみを使用しています。トレーサビリティにも配慮し、第三者検査機関の認証を受けた農場、紡績メーカーのものを採用しています。



イズミヤの プライベートブランド



(モロッカシリーズ)

触れるたびにひんやり感じる接触冷感生地を使用し、暑く寝苦しい夜も快適に眠れる寝具です。



ユニー(株)・(株)フジと3社協業で、 普段の生活を応援



(こしひかりご飯)

国内産のコシヒカリを使用した、簡単・便利なレンジごはんです。



ワンランク上の生活を応援する 高付加価値商品



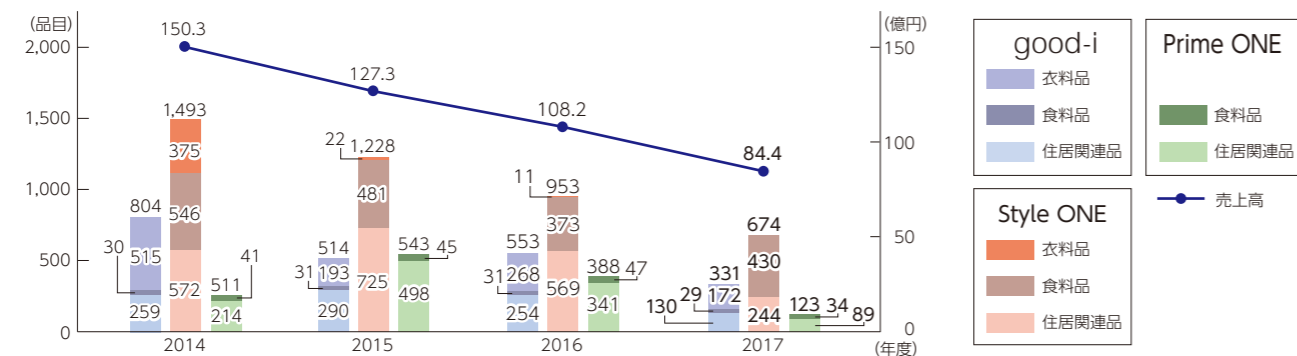
(いなかのたまご)

契約指定農場で、国内産飼料米を原料にした米粉を配合した飼料で育てた鶏のたまごです。



「プライベートブランド」取り扱い品目数・売上高

2017年度は3ブランド合わせて1,128品目を開発し提供。売上高は、「good-i」28億円、「Style ONE」50億円、「Prime ONE」6億円となっています。



安全・安心を約束する品質管理体制

イズミヤが製造委託・販売する「good-i」及び店内加工食品は、人事総務部品質管理担当が開発段階から一貫して品質を管理。商品の安全性や機能性を分析し、厳しい品質基準に基づいた品質検査、製造委託工場の調査、品質表示の確認を行い販売しています。また、「Style ONE」「Prime ONE」の協業プライベートブランド商品は、統一のルールに基づきお客様に判りやすい品質表示を行い、商品毎の開発担当会社が責任をもって品質管理を行っています。

食品加工室の衛生診断

店舗の加工室の衛生管理状況を1年に2回チェックし、店舗の担当者にフィードバックすることで、従業員の意識の向上を図り、安全を担保しています。



食品衛生診断担当が衛生状態を厳しく診断

ますます便利に

イズミヤポイントカード「ヒナタス」 「ソレーナSTACIAカード」

ヒナタスとソレーナSTACIAカードの会員数は現在約140万人と、多くのお客様にご利用いただいています。

また、両カードでたまる、つかえる「Sポイント」は、阪急阪神グループの施設をはじめ、関西のさまざまなScene(場所)でご利用いただけるSpecial(特別)なポイントサービスです。

Sポイント優待店は、イズミヤ・カナートをはじめ、阪急オアシス、阪急百貨店、阪神百貨店、阪急阪神ホテルズ、阪急阪神グループのショッピングセンターなど、順次拡大中です。

Sポイントについて詳しくは、
Sポイント 検索
<https://www.s-pt.jp>

より良い店づくりにお客様の声を反映

イズミヤはお客様のご意見を様々な方向から汲み取り、店づくりに活かしています。「ご意見うけたまわり係」には、前年を上回る多くのお客様から意見が寄せられています。消費生活コンサルタント等の有資格者をご要望をお聞きし、情報を全社で共有。商品開発やサービスの改善・充実につなげています。

- ▶フリーダイヤル「ご意見うけたまわり係」(0120-26-5050)
- ▶電子メール「ホームページ窓口」
- ▶店頭のお客の声ボックス

〈ご意見うけたまわり係受信状況〉

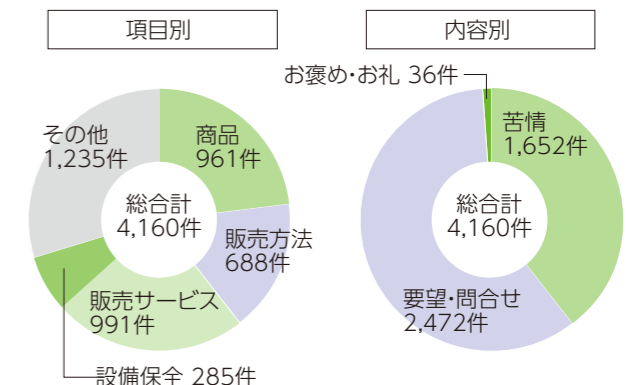
※2017年度受信総件数4,160件(前年比107%)

受信形態の内訳としては電子メールが今年度も千件近くあり、昨年同様4分の1の割合を占めており、お客様の声として丁寧に回答しました。

受信項目別の特徴的なご意見と回答内容

- 商品**
 - PBを筆頭に品揃え関連の問合せ。
 - 味覚や賞味期限などの受信の増加。
 - ➡ 都度、店舗と商品部と連携して回答し改善を促しています。
- 販売方法**
 - クラブカードの切替や新電子マネー「リッパ」の問合せ。
 - チラシ内容の問合せやご要望に対し、ご意見承り。
 - ➡ カードの機能やセールについて、判りやすい案内ツールを担当部署へ提言しました。
- 設備保全**
 - 受動喫煙へは全店実態調査し、環境改善を促進。
 - 建替や改装工事で近隣の方より音・環境への問合せ。
 - ➡ 五感に関わるお客様の声には最優先で対話重視で取り組んでいます。

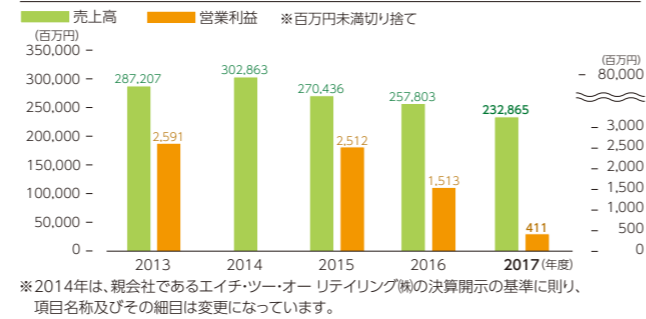
2017年度は2店舗が閉店、2店舗が建替えのための一時閉店、建替えオープン2店、改装5店舗と活発に店舗のリフレッシュを進めています。これら店舗に関する問合せが増加し、受信数が107%の要因となりました。お客様にはご不便をおかけいたしますが再開を楽しみにお待ちしておりますようにご案内しています。



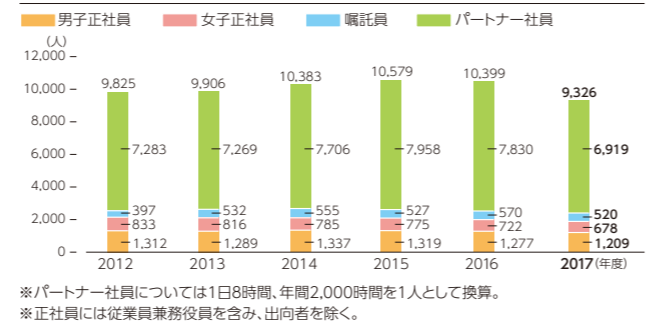
◆会社概要

社名	イズミヤ株式会社
本社所在地	〒557-0015 大阪市西成区花園南1丁目4番4号
事業内容	衣料品、食料品、電器、家具、レジャー用品、日用雑貨等の総合小売業のチェーンストア
創業	1921年(大正10年)5月3日
設立	2016年(平成28年)7月1日
	イズミヤ株式会社は株式会社エイチ・ツー・オーアセットマネジメントへ商号変更、並びにイズミヤ株式会社を新設
資本金	1億円(平成30年3月末)
代表者	代表取締役社長 四條 晴也
売上高	2,475億円(平成29年度実績)
店舗数	84店舗(平成30年3月末現在)
社員数	1,887名(平成30年3月末現在)
決算	3月末(年1回)

◆業務実績(売上高/営業利益)



◆従業員数



▶社会・環境活動の歩み

■経営

1921年 5月	いづみや呉服店として 大阪市西成区花園町に創業
1952年 4月	衣料品の販売を主とする いづみや株式会社を設立
1968年 4月	食料品の取り扱いを開始
1970年 3月	電器、家具の取り扱いを開始
1979年 9月	「いづみや」から「イズミヤ」に社名変更
1985年 9月	「イズミヤカード」発行
1999年12月	ネットショップ「アイウィル」を開設
2001年 3月	ネットスーパー「楽楽マーケット」を開設
10月	プライベートブランド「good-i」導入開始
11月	「クラブカード」全店導入
2009年 8月	イズミヤ(株)・ユニー(株)・(株)フジ共通プライベートブランド「StyleONE」発売開始
2010年 2月	伊藤忠商事(株)と資本業務提携
12月	衣料品新業態「fratto(フラット)」第1号店オープン
2011年 4月	電子マネー「miyoca」導入
9月	イズミヤ中国1号店「泉屋百貨」開店
2013年 6月	「惣菜新工場及び食品プロセスセンター」の開設
8月	電子マネー機能付き新「イズミヤクラブカード」誕生
10月	新業態の実験を開始「ファミリーマート×イズミヤ寺田町東店」を開店
2014年 6月	H2Oリテイリングと経営統合
2015年 5月	「法円坂店」を開店
9月	「千本中立売店」を開店
11月	「ららぽーとEXPOCITY店」を開店 「ソレナSTACIAカード」申込開始
2016年 3月	「スーパーセンター福町店」を開店
4月	ポイントカード「ヒナタス」全店導入
7月	(株)エイチ・ツー・オー アセットマネジメントに商号変更、並びにイズミヤ(株)を新設
2018年 1月	再オープン1号店として「あびこ店」を開店
4月	「岸里店」を開店

■社会

1971年 3月	お客様の声をうけたまわる窓口を開設
1974年 3月	いづみや共済会発足
1987年 3月	「人事問題検討委員会」発足
1994年 2月	視覚障害者のお客様への対応マニュアル作成
1996年 9月	車椅子・杖・老眼鏡を全店舗へ設置
2000年 3月	「お客様の声ボックス」を全店に設置
2004年 3月	お問い合わせHP窓口開設
3月	オペレーションリーダー制度を導入
2006年 4月	リーダー契約社員制度を導入
2007年 9月	育児休暇制度と育児短時間勤務制度を拡充
2008年10月	AED(自動体外式除細動器)を16店舗に導入
2009年10月	子育てをサポートする「基準適合一般事業企業」に認定
2010年 9月	組合員範囲の拡大
2月	大阪府立大学と「地域貢献パートナー協定」を締結
2011年 5月	宮崎県口蹄疫被害に対する募金活動
2月	「ニュージーランド地震」への募金活動
3月	「東日本大震災」に対する募金活動
9月	「台風12号による水害被害」に対する募金活動
2013年 2月	「StyleONE」天然水2Lの売上金の一部を東日本大震災被災地の復興支援に寄付
12月	「フィリピン台風被害」に対する募金活動
2014年 9月	「広島県大震災」に対する募金活動
9月	盲導犬募金額が累計3000万円に達したことによる感謝状の授与
2015年 5月	「ネパール地震」に対する募金活動
9月	「台風18号等大震災支援金」募金活動
10月	「ワンステップキャンペーン」*実施。
2016年10月	「盲導犬育成キャンペーン」*実施。
2017年10月	「盲導犬育成キャンペーン」*実施 ※ユニー・イズミヤ・フジ&日清ペットフード共同社会貢献活動企画

■環境

1992年 4月	牛乳パック回収スタート
5月	アルミ缶回収実験スタート
6月	食品トレー回収スタート
1994年 3月	ペットボトル回収スタート
1998年 6月	買物袋スタンプ制度開始
2001年 2月	ISO14001認証を本社で取得
6月	「イズミヤ環境活動報告2001」発行
2002年 2月	ISO14001認証を関東営業本部で取得
2003年 4月	千里丘店にて透明トレーの回収実験開始
2004年 5月	「エコロジーなぞなぞぶっく」発行
10月	マイバスケットを全店取り扱い開始
2005年 6月	「マイバップ持参キャンペーン」を実施
2007年 3月	光風台店で「レジ袋有料化」実施
2008年 2月	六地藏店に廃棄物計量器導入
8月	カーボンオフセット付きPB商品を発売
2011年 6月	第1回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施
10月	第2回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施 (2017年まで毎年2回実施)
10月	5店舗で「エコ値引き」開始
2012年 2月	全店「エコ値引き」開始
2015年 2月	「千本北大路店」開店に伴うレジ袋有料化開始(全12店舗)
9月	「千本中立売店」開店に伴うレジ袋有料化開始(全13店舗)
2016年 1月	「長岡店」レジ袋有料化開始(全14店舗)
7月	「西神戸店」「神戸玉津店」レジ袋有料化開始(全16店舗)
2017年 6月	第13回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施
10月	第14回「みんなのエコで東北を応援しようキャンペーン」実施
2018年 6月	北摂地区8店舗のレジ袋有料化開始(全22店舗)

第三者意見



京都市ごみ減量推進会議事務局職員

堀 孝弘氏

2017年度、京都府及び京都市から温室効果ガス削減を表する「特別優良事業者賞」を受賞されたとのこと、これまでの地道な省エネ活動や積極的な機材更新の成果が評価されたと感じる。また、大阪府北摂地域7市3町合同でのレジ袋削減協定についても、地域内で先行した光風台店の取り組みが協定実現に良い影響を与えたものと思う。

昨年の「社会・環境活動レポート2017」の第三者意見で、「関西には特徴的なスーパーマーケット(以下、スーパー)、特定地域に強固な地盤をもったスーパーなどがある。その中で、イズミヤはどのような色を出すのか」と問うた。

その答えを「食事業を軸としたモデルの確立」に感じる。「研修センター」の稼働など人材養成が成果をあげつつあり、生鮮・デリカ部門などインスタ加工品の充実で反映していると感じる。また、売場全体でショーケースが低くなり、サラダアイランドや通路の非直線化も、買い物の楽しさの演出につながっている。コンビニエンスストアやドラッグストア、ネットスーパーなど他業態や、同業他社との差別

▶社会・環境活動レポートの発行にあたって

■編集方針

イズミヤ株式会社の事業活動における「経済」「社会」「環境」の3つの側面に関して、『ステークホルダーの皆様への関心』と『事業活動としての重要性』の観点から報告内容を選択し本報告書にまとめました。当社の活動状況や企業姿勢をより多くの方々にご理解いただき、各ステークホルダーに適切な情報を提供することを目指しています。報告書の作成にあたっては、環境省発行の環境報告ガイドライン(2007年版)及びGRIの「サステナビリティ・レポートガイドライン第4版(日本語版)」を参考にしました。

■報告対象組織

イズミヤ株式会社

■報告対象期間・発行日

2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日:当事業年度)
※一部、期間外の活動についても報告。
今回発行2018年7月(次回発行予定2019年7月)
※1995年より発行、本報告書は20回目の発行となります。

■免責事項について

本報告書には発行日時点における予想・予測・計画も含まれております。これらは記述した時点で入手できた情報に基づく仮定や判断が含まれており、諸条件の変化によって、本報告書に記載した予測・予想・計画とは異なる可能性があります。

■お問合せ先

イズミヤ株式会社 人事総務部 エコロジー推進担当
TEL.06-6657-3455 FAX.06-6657-3398
URL <http://www.izumiya.co.jp>

化、個性的な店舗づくりが進みつつあると感じる。

しかし、インスタ加工品の充実は一方で容器包装ごみの増加をもたらす。最近売り場で非発泡透明のトレイとフタに包まれた食材をよく見るようになった。かつて京都市ごみ減量推進会議でも、従来のポリスチレン製発泡トレイにラップをかけた包装と比べて、同一商品の包装の重量がどれだけ増えるか調べたことがある。重量だけでなくリサイクル性でも劣り、フタ付き非発泡透明トレイの増加は環境負荷を考えれば歓迎できない。

折しも海洋ごみ問題が世界的な関心事になりつつある。環境対策に熱心なヨーロッパ諸国だけでなく、アジアの他地域でも脱使い捨てプラスチックの動きが起きている。「今すぐ」ではないが、遠くない将来、プラスチック容器包装使用の考え方が根本的に変わる可能性もある。日々の業務との並行は大変だが、引き続き環境情報の積極的な収集に努めていただきたい。

PROFILE

堀 孝弘氏

●京都市ごみ減量推進会議事務局職員

流通企業で8年勤務、京都大学職員を4年、環境NPOの事務局長を11年、自治体の管理職を2年経験。全国的な環境活動に取り組むとともに、複数の大学の講師も務めてきた。現在は、京都で地に足をつけた活動を実践している。

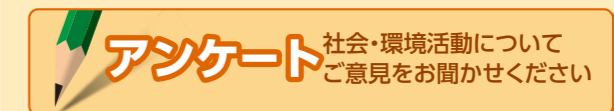
▶編集後記

「社会・環境活動レポート」は、イズミヤの社会・環境活動を皆様によりご理解いただくことを発行の目的としています。レポートを編集しながら、お客様、お取引先、従業員、社会とのつながりを改めて感じました。環境についても「エコ学習会」など、お客様とのコミュニケーションを大切に進めていきたいと考えています。イズミヤの取り組みに関して、皆様の忌憚のないご意見をアンケートなどで寄せただけでしたら幸いです。

読者アンケートにご協力ください!

皆様の声を
事業活動に
活かします!

<イズミヤ社会・環境活動レポート2018Webサイト>
<http://www.izumiya.co.jp/environment/index.html>



<アンケート送付方法>

